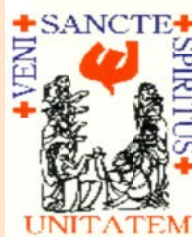


2014年3月16日(第160号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



カトリック高松教区報

最大の悪は、隣人愛の欠乏です。
最大の悪は、ぎりぎりの生活をしている人々に対する、搾取されている人々に対する、なまれている人々に対する、恐ろしい無関心です。

信仰共同体養成に取り組み

諏訪司教が司牧書簡

諏訪司教は四旬節にあたり、昨年に続く宣教司牧書簡「信仰共同体の養成に取り組み」(2)を発表した。教区の司牧方針を確認するとともに現在進められている信徒養成の過程を振り返り、信徒の役割として集会祭儀の司式者の必要性と養成スケジュールにも言及。地域ブロック活動の大切さを語り、ミサによって「福音の喜び」のうちに生きていきたいと思います」と信徒を励ました。

信仰共同体の養成に取り組み(2)

目次

- (1) 高松教区の方針
2013年度の教区宣教司牧書簡の要約
ナイスの3本柱 信仰 共同体 現実
(2) 生涯養成
2012年 信仰
「信仰年」ダイナミックメモリー(信仰の目で人生を振り返る)
2013年 共同体
御ことばを味わう「7ステップ」
2014年
信徒の奉仕職
「集会祭儀」(司祭不在時)にむけて
教区の宣教司牧基本姿勢
(3) 地区(ブロック)を生きる
協力宣教
(4) 遣わされてミサを生きて
対話の精神



諏訪榮治郎司教

信徒の集会祭儀実施へ

司式者養成の場設ける

新しい一年に
「はじめに」
諏訪司教は昨年は公式訪問ですべての小教区の人々と交わりができた。『教区設立50周年の集い』が開催できたことを感謝。今年はその後の新たな一歩の年になり、『高松教区も福音を告げ知らせる新しい教会のあり方を策定していかねば』と決意を述べる。

人生の主人公は神様

人生の主人公は神様
「信仰」の養成
2012年は「信仰」をテーマに、信仰の目で人生を振り返る「ダイナミックメモリー」を全地区あげて行った。『教区民の集い』でもこの方法

今年から司祭減る

今年から司祭減る
集会祭儀
集会祭儀について語る前に司教は「2014年から担当司祭の数が確実に減ることになり、私たちは協力・協働する教会を作ることにあります。司祭・助祭でチームを作り、複数教会の協力宣教司牧に当たります」と教区の深刻な現状とこれか

地区ブロックを生きる

地区ブロックを生きる
「地区(ブロック)から推薦を受け司教が任命する」というスケジュールを考えている」と述べ、信徒の奉仕職として信仰の目を持って受け止めて欲しいと願っている。

福音の喜びに満ちて

福音の喜びに満ちて
出かけましょう
「遣わされミサを生きて」ミサごとに新たな光と喜びをいただき、生活の場へと派遣されていきます」と司教は述べる。そして月曜日から私たちは出逢う人と出来事を心から大切にしようという「対話の精神」に生きるようにと勧める。「あなたが、わたしを選んだのではない。わたしがあなたを選んだ。あなたが出かけていって実を結び、その実が残るように。互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。(ヨハネの福音書)を引用。慰めだき「福音の喜び」に生きる幸せを祈り、出かけていこうと司教は信徒たちに呼びかけ。主の平和が皆さんとともに「祝福で書簡を締めくくった。

2014年高松教区辞令

司牧者派遣は地区/ブロック派遣とし、協力宣教司牧に当たる。( )は前任地

本部事務局

本部事務局長・西川康廣助祭
本部事務局次長・多田 洋氏
司教秘書 ・岩崎 武師
教区広報担当 ・谷口広海助祭
教区会計実務、桜町集会所管理・井川美佳氏

香川地区

- 東讃ブロック
番町教会 担当司祭・松永洋司師
桜町教会 担当司祭・赤波江豊師(大阪教区)
小豆島教会 担当司祭・岩崎 武師
三本松教会 担当司祭・ロバート・ロビンソン師(オプレート会)
西讃ブロック
坂出教会 担当司祭・ホルヘ・ソーザ師
丸亀教会 担当司祭・フェルナンド・マヨラル師
善通寺教会 担当司祭・ネルソン・ウィリアム師
観音寺教会 担当司祭・マンソ・クレメンシオ師
池田教会 複数司祭による司牧

徳島地区

- 鳴門教会 担当司祭・乾 盛夫師
徳島教会 担当司祭・イスナエル・ゴンザレス師
阿南教会 担当司祭・シルバー・ベルトラム師

愛媛地区

- 東予ブロック
新居浜教会 担当司祭・稲毛利之師(西条教会)
伊予三島教会 複数司祭による司牧
今治教会 担当司祭・デシデリオ・カンバラ師(小豆島)
西条教会 複数司祭による司牧
中予ブロック
道後教会 担当司祭・川上栄治師
松山教会 担当司祭・ルイス・グティエレス師
郡中教会 担当司祭・ハビエル・レチョン師、
南予ブロック
宇和島教会 担当司祭・田中正史師
八幡浜教会 担当司祭・アルベルト・サイズ師
\*地区協力司祭: マリアノ師、イルデフォンソ師、アルベルト師、サトルニーノ師、ファン・マヌエル・ゴンサロ師

高知地区

- 中島町教会、安芸教会 担当司祭・イルダヤラージ・アントニサミー師
江の口教会、赤岡教会 担当司祭・パーキアナータン・クリスティニ師
中村教会 複数司祭による司牧
\*地区協力司祭: 硫黄隆二師、ブルゴアン・レモン師、トーマス・マヘル師

教区外移動

- 土屋和彦師(新居浜)・さいたま教区群馬県東ブロック大間々・桐生担当
レナト・フィリッピニ師(桜町教会)・ザベリオ会イタリア本部
ヒラン・インディカ師(江ノ口教会)・大阪教区伊丹教会
Sr.刀根美津子(桜町聖母幼稚園)・ナミュール・ノートルダム東広島修道院

はばたき

四旬節に入った。これから四十日の間、荒野で試みられたイエスの苦しみと受難を想い、神への純粋な愛と信仰に生きてゆきましょう。二月初め、寒さの厳しい残雪が目につく京都の冬を体感してきた。溝部司教様の金祝をお祝いするためだ。会場の西陣教会での金祝ミサ、青年のカテケーシス、懇親会には全国から二百人を超えるお祝いの人々が駆け付けた。祈りと分かち合いと懇談の中で、司教様を囲んだ暖かいまなざしと喜びに満ちあふれた共同体ができあがっていた。金祝を迎えられた司教様は「長く短い五十年でした。私の司祭生活は常に若者でありました。こうして元気に五十年を祝うことができるのも、これら若者がわたしに力を与えてくれたからだと思えます。司教という仕事を終えて念願であった青年活動に専念できることを最大の幸せに感じています」と述べる。溝部司教様は今、京都の西陣教会に「望洋庵」という場を設け、若者たちを大きく、若者たちとともに生きようとしていっている。希望を持って生きたい若い人、もっと広い世界へ歩みだしたい若い人、自分の人生をもう少し考えたいという若い人たちは訪ねてみて下さい。司教様は「やあ、こんにちは」と、あの温かい笑顔で迎えてくださるだろう。

# 多 子 祝 60

オブレイト会  
ペルトラム・シルバー師



「日本の音楽に関心をもち、謡(うたい)、尺八、大太鼓、小太鼓に携わってきた。それは、日本の

司祭叙階60周年おめでとうございます  
ペルトラム・シルバー神父 叙階 1954年5月30日

良さや日本人の気持ちをも理解する上でとても役立つ。同時に布教のため私自身にとり、

## 日本人のこころを理解

計係、幼稚園長も務

良かった。ライオンズクラブにも所属し、史上初の外国人会長となった。そこでバングラデシュの寄付のためによく働いた。

Br・八木信彦

# 金 祝 50

- 司祭叙階50周年おめでとうございます
- 溝部 脩 司教 1964年2月9日
- イマール・ゴザレ神父 1964年7月5日
- 乾 盛夫神父 1964年6月14日
- 硫黄隆二神父 1964年6月14日

## 教皇様が溝部司教様を祝福

溝部脩 名譽司教



高松教区名譽司教 溝部 脩 司教  
Mons. Francis X. Osa  
nu Mizobe S.D.B.  
司祭叙階50周年を迎えられるに当たり、これまでに溝部司教様のご奉仕

スペイン外国宣教会  
イスマエル師



徳島教会に初めてスペイン外国宣教会から、イスマエル神父様をお迎え致しました。信徒一同感謝の内に御ミサに与り、毎週の説教を楽しみにしています。また、ミサ前に御席で黙想されている

オブレイト会・乾盛夫師



古賀教会主任および曉の星幼稚園園長を長年勤められ、2003年に郷里の鳴門教会主任および鳴門聖母幼稚園園長として今日に至っています。この間、教会関係のいる

## 多くの役務に活躍

福田健一

オブレイト会・硫黄隆二師



1978年に安芸教会に48歳で赴任して来られ海星幼稚園の園長として苦勞されました。担当司祭となられて戻す日目のミサに加えて、安

## 山道も車を運転

約20年間にわたる山道も車を運転する事を楽しんでいます。以前より大いに柔らかくなった厳格な神父様を皆気に入っています。

山口 幹

## 小教区紹介

### 善通寺教会(香川)



今から五十年ほど前のまだ出来たばかりの善通寺教会のことです。神父さまと数名しかいなかった信者が幼稚園の木造園舎の廊下で御ミサの後、わかち合いの時間を持っていたそうです。現在も御ミサの後に分かち合いを行っています。でも、今は廊下ではなく司祭館で信者手作りのケーキをいただきながら、祈りを捧げています。

## 毎月2回 土曜学校開く

善通寺教会はとても小さな教会です。委員会を作るのは難しいので、担当の先生が、今年度をもって2年の哲学課程を終え、この度、助祭・司祭候補者認定に与ることになりました。これまで支えて下さった全ての皆様に心より感謝申し上げます。想い起こしますと、高松の2年の志願の東京の神学院での2年の哲学期と、4年の養成課程を歩ませ頂いたことになりました。日々とても充実した時間を頂きましたが、振り返るとあっと言う間の4年間でした。今年度は、色々な場を

## 高松教区にとっての大きな喜び

### ヤコブ 宋 亨根(ソン・ヒョンゲン) 助祭叙階式

韓国 MOKPO, JEONNAM 出身  
1981年6月18日生まれ  
2002年~(兵役)~2009年  
光州カトリック大学卒業  
2009年8月 六次日本語学校入学  
2012年  
日本カトリック神学院入学  
2013年3月 祭壇奉仕者選任



2014年2月23日(日) 午後2時より、高松教区司教座聖堂に於いて司祭候補者・宋亨根神学生の助祭叙階式が行われた。出身の韓国からご家族を初め玉賢進補佐司教、司祭、友人約30名の関係者が駆けつけ、また日本各地から韓国籍司祭、神学生、青年も参列。韓国語と日本語併用による荘厳な典礼で、多くの教区民が見守る中で盛大に執り行われた。宋神学生は、前教区長・溝部脩司教の尽力により2009年8月に韓国・光州(クアンジュ)教区から来高した。その後、高松市内にある日本語学校で二

## 神学生便り 助祭・司祭候補者認定へ 哲学課2年高山徹



お陰様で、今年度を通じて2年の哲学課程を終え、この度、助祭・司祭候補者認定に与ることになりました。これまで支えて下さった全ての皆様にご心より感謝申し上げます。想い起こしますと、高松の2年の志願の東京の神学院での2年の哲学期と、4年の養成課程を歩ませ頂いたことになりました。日々とても充実した時間を頂きましたが、振り返るとあっと言う間の4年間でした。今年度は、色々な場を

### 徳島地区県樹メッセージ

徳島地区は県樹であるやまももの樹に、徳島、鳴門、阿南の3教会から、多くの祈りのメッセージが寄せられました。

そして愛らしい赤い実を飾る、やまももの葉のメッセージは、視覚的にも信徒の祈りの内容と同じく、心こもったとても美しいパネルに仕上がりました。そして「どのような教会になりたいか」という問いかけに対して、地区の皆さんの大切な思い



### 香川地区県樹メッセージ

教区設立50周年記念行事において香川地区8小教区から寄せられた県樹奉納における葉っぱは総数209枚でした。

それを適当なキーワードで分類すると感謝(35)、期待・希望(77)、願望(38)、決意(29)、提言(20)、外国語(10)のようになりました。その一部をご紹介します。その後、そこから得られたヒントについて述べてみたいと思います。

・教会はわたしにとって出会いの場、よき友に恵まれた場です。祈りの場、共に助け合う場です。  
・キリスト教に出会えたことに

### 思いやりとやさしさ

・風通しがよく心穏やかになる教会  
・思いやりとやさしい雰囲気のある教会

・いつも開いている温かい教会  
・神さまを大切に感じ、神さまから祝福される教会  
・愛の光に満ちた教会  
・ほほえみにみちた教会  
・明るく楽しい人間関係の教会  
・明るい挨拶をする教会  
・主における家族のような教会  
・笑顔がいっぱいに輝いている明るい教会  
・元気で活気のある教会

や願いがいつばい詰まった、メッセージをたくさんいただきまし。それは大きく分けて4つの希望や願いが感じられました。集約すると次のとおりです。

### 祈りの県樹メッセージ

### こんな教会になりたい

感謝します。これからも迷わず信仰の道を歩んで行くことが出来ますように。

・イエス様とマリア様のご加護の内に50周年、おめでとうございませう。

・すばらしい小豆島教会を残して下さった先人の方達に心から感謝致します。閉った日が多い聖堂を、出来るだけ開けるよう努力します。

・みんなが笑顔であふれる教会、祈りの教会になってゆくことを希望します。

・元気のある教会。  
・人の集まる喜びあふれる教会作り。

・いつでも誰でも立ち寄れる教会。  
・祈る教会をめざして。  
・教会奉仕者が増えますように。召し出しがありますように。神様へお祈りします。

・心をつなげて。神様のみ旨に従い歩めますように。  
・祈りが出来る教会、共に誘

### 地域の人々との交流も大切に

・お互いに救し合える神の民となる教会  
・日々の疲れを癒して元気になる教会  
・やさしい人達の多い教会  
・信仰を求め訪れる人々をやさしく迎えられる教会  
・希望の場である教会  
・やさしい神の愛で包み込む雰囲気のある教会

・主に祈り続ける人々の集まりになる教会  
・気持ちにゆとりのある教会  
・共同体一人ひとりの信仰を強めれる教会  
・心を大事にする教会  
・尊敬の念を心に持ってさりげなくふれあえる教会

・お互いに救し合える神の民となる教会  
・つながりを大切にする教会  
・温かい言葉、温かい心で受け入れる教会  
・家庭的でいじめや陰口のない教会  
・一人ひとりに与えられた才能の中で、教会で出会った、愛と信頼、やさしさやなごみで心が

### 高年齢者と若者が交流

・ほっとできる教会  
・全ての人が尊敬の念を抱き、愛しあえる教会  
・愛にみちた家族のような教会  
・神から与えられた道を信じ、感謝し、喜びを持って共に歩める教会  
・自分の役割を見出すことが出来る教会

### 子どもが楽しく遊べる

・子どもが元氣いっぱい集える教会  
・子供たちが明るい歓声が聞こえる教会  
・子供が元氣に楽しく遊んだり、子供が元氣に楽しく遊んだり、駆けまわられる教会  
・親たちの会議等の待ち時間に、子供が楽しく過ごせる工夫のある教会

### 人が集まる喜びあふれる場に

・少ない信者の一人一人が元気で教会に来る事が出来ますように。  
・心から願っています。

・みなが少しづつでも、たまものに応じた労働をすることで、教会がみんなの家と思えるようになり、感謝に満ちた教会になつたらいいと思つて。

・家族の者が互いに思いやりを持ってより添えますように。  
・高松教区の再生の効果が一致

・お互いに救し合える神の民となる教会  
・つながりを大切にする教会  
・温かい言葉、温かい心で受け入れる教会  
・家庭的でいじめや陰口のない教会  
・一人ひとりに与えられた才能の中で、教会で出会った、愛と信頼、やさしさやなごみで心が

### 地域社会への奉仕も

・高年齢者と若者が話し合ったり、祈り合ったりできる教会  
・大切な教会の家族たちの支えになれる教会  
・家庭的でいじめや陰口のない教会  
・一人ひとりに与えられた才能の中で、教会で出会った、愛と信頼、やさしさやなごみで心が

・高年齢者と若者が話し合ったり、祈り合ったりできる教会  
・大切な教会の家族たちの支えになれる教会  
・家庭的でいじめや陰口のない教会  
・一人ひとりに与えられた才能の中で、教会で出会った、愛と信頼、やさしさやなごみで心が

### 子どもが楽しく遊べる

・子どもが元氣いっぱい集える教会  
・子供たちが明るい歓声が聞こえる教会  
・子供が元氣に楽しく遊んだり、子供が元氣に楽しく遊んだり、駆けまわられる教会  
・親たちの会議等の待ち時間に、子供が楽しく過ごせる工夫のある教会

・教区の為に聖マルチン病院の建築プログラムが、神さまのお心になつたよう実行されますように。  
・信仰の話も世間話も輪になって話し合える教会であつて欲しい。  
・社会との繋がりをもって生き生きと働く教会。

・開かずの教会を解消する小豆島  
・ロザリオの祈りを各信徒が唱へ、これを日曜のミサで奉納し、集約して年の始めに在籍する聖職者と前年の教区内物故者に捧げる事を目的とする会をつくりたい。  
・日曜日のミサが楽しくなるような教会であつて欲しい。そのように努力したい

・開かずの教会を解消する小豆島  
・ロザリオの祈りを各信徒が唱へ、これを日曜のミサで奉納し、集約して年の始めに在籍する聖職者と前年の教区内物故者に捧げる事を目的とする会をつくりたい。  
・日曜日のミサが楽しくなるような教会であつて欲しい。そのように努力したい

・開かずの教会を解消する小豆島  
・ロザリオの祈りを各信徒が唱へ、これを日曜のミサで奉納し、集約して年の始めに在籍する聖職者と前年の教区内物故者に捧げる事を目的とする会をつくりたい。  
・日曜日のミサが楽しくなるような教会であつて欲しい。そのように努力したい

・開かずの教会を解消する小豆島  
・ロザリオの祈りを各信徒が唱へ、これを日曜のミサで奉納し、集約して年の始めに在籍する聖職者と前年の教区内物故者に捧げる事を目的とする会をつくりたい。  
・日曜日のミサが楽しくなるような教会であつて欲しい。そのように努力したい

### ▲愛媛地区県樹メッセージ

愛媛地区の県樹『松』の葉のメッセージは292件が寄せられた。

【感謝】【希望・願望】【祈り】  
【決意・提案・意見】の項目別に紹介する。

### 50周年お恵みに感謝

【感謝】教区設立50周年を迎え神のお恵みに感謝、それを支えた司教、司祭、信徒役職の方々への感謝が多かった。特に教



### ▲高知地区県樹メッセージ

主よ、私たちは高知県の県樹である杉の木の葉に、心を込めて祈りの言葉を書き記しました。それらは平凡であるかもしれませんが、私たちキリスト者が未来に向かって歩んで行くための指針となる、大切な祈りの言葉です。その主なものを下に列挙いたしました。

区に試練の嵐が吹き荒れていた時、仙台教区より高松教区に着座された溝部司教様に心からお礼申し上げます」と、この50年間の大きな危機を苦勞して乗り切られた教区の恩人への感謝が目についた。

また、はるばる四国の地へ来られ苦難に耐えながら信仰の種をまき、信徒を導き、一生を捧げられた外国人の神父様方への熱い感謝の思い、ご冥福の祈りが多かった。

### 力強い福音宣教望む

【希望・願望】信徒たちが一致して集う理想的な教会の姿として『愛し合う』『助け合う』『仲良く』『信じ合い認め合う』『なごやかな』『暖かい雰囲気』『家族のような和が広がる』など表現できるあらゆる

る言葉が目白押しだった。

そしてキリストを中心にした教会、みことばに養われ信仰を深め合う教会、時代の移り変わりに正しく対応できる教会、常に社会へ門を開き力強い福音宣教ができる教会など社会へ向かって宣教する力を強くしたいという望みが述べられている。

## キリストと共に歩んで行こう

### 外に向けて社会奉仕

『神父様がいつも教会にいて信徒とともに歩んでください』『司祭の教会常駐の願いも』

### 愛があふれた教区に

【決意・提案・意見】『教会の外での社会奉仕をしながら信仰を深め、みことばを伝えたい』『信徒の和を』などの言葉もあり、教会運営の中での葛藤の一端が垣間見えるような少し寂しがりな言葉も見られた。

## 祈りの県樹メッセージ 「こんな教会になりたい」

### いつも笑顔で仲良く

教会に集うみんなが仲良く助け合い、お互いを気遣う兄弟姉妹として、いつも笑顔で交わっている教会、みんなが心を主に向けて真の一致を求め、神の愛の実現へと向かう教会。これが私たちが目指す教会の姿であり、私たちはそれに向かって、

### 許し合い分かち合う

・協力と一致のある教会  
・心から赦し合い、分かち合う建築の仕事は多岐に分けられ、

## 真の一致求め神の愛の実現へ

一人ひとりの技術や能力を結集させなければなりません。私たちのすべての祈りを吸い上げたこの杉の樹を使って、みんなが力を合わせ、神の愛に満ちた真の教会を建てること。それこそが私たちの務めなのです。

### 地域の人も立ち寄る

・神様の愛が実感できる教会  
・年齢に関係なく、いつでも気軽に立ち寄りたくなるような教会

### メッセージ分類・分析

#### 分類と分析次の通り

- 感謝 108・希望、願望 (教会の今後に希望、願望) 83
- 祈り(個人的な願望も) 51
- 決意 44
- 提案、意見 6

#### 【感謝】

- 神、聖霊の恵み、イエス、マリア、教会への感謝 24
- 司教、宣教師として働いて頂いた外国人神父、その他神父方への感謝 16
- 50周年の歩みに感謝 14
- 教会の為に働いて下さった信徒達、導いて下さった信徒、友人達に感謝 11
- その他感謝(修道生活召された事、受洗の恵みなど)

#### 【祈り】

- 個人の信仰心に関する祈り(導き、叡智、御加護、聖母の憐れみ等) 17
- 教会の発展、神の御加護、導きを望む祈り 9
- 世界平和、平等を望む 7
- 若者、子供に関する祈り(信仰心、音宣教) 5

#### 【個人に関する決意】

- 心から人を赦し、いつも肯定的に、忍耐と心の平安を持ち、優しい心で人に接する 10
- 自らの信仰を深めながら、福音宣教 5

5・2月の下旬に、フィリピンの災害復興支援のための、交流会を実施する。

一人ひとりの技術や能力を結集させなければなりません。私たちのすべての祈りを吸い上げたこの杉の樹を使って、みんなが力を合わせ、神の愛に満ちた真の教会を建てること。それこそが私たちの務めなのです。

主よ、弱い私たちがいつまでも見守り続けてください。

主よ、弱い私たちがいつまでも見守り続けてください。

私たちは、自分を創造しようとする子どもをまなび、護りましょう

### 暁の星学園

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園  
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園



若い力

高松教区青年の集い  
テーマ『私たちが教会です』  
松山教会 深堀 景應

1月18、19日に愛媛県松山市北条にある聖カタリナ高校が所有している北条セミナーハウスにて青年の集いを行いました。松山からはもちろん、香川、徳島からも集まっていたいただき司教様、プラーザー合わせて13人と一泊二日、わいわい食事したり、祈り、歌を歌ったり非常に盛り上がった二日間でした。また今回宿泊させていただいたセミナーハウスはまるでホテルのように施設が充実しており快適な空間で過ごすことができました。食事に關して、全員で調理し鍋を囲んだり、お

祈り語った貴重な時間

もちろんただ食べるだけでなくしっかりと全員で祈りもしました。それぞれの今までの人生を振り返ってどんな時に神様の存在を感じたかということや私たちにどうして神様が何だろうといったことは普段生活していてもあまり気にするときは無かったもので、そういったことをみんなで共有する貴重な時間になりました。



な時間にいられたなど改めて思いました。最後にこの二日間で私がおもったことは、ありのままの自分であることができたと思います。一人暮らしをしているとなかなか家族の前にはいることがないのですが、その数少ない居場所の一つに仲間入りした(笑)と実感できました。次回が早く来ないか待ち遠しいです!!

気づくことの喜び

初めてづくしの私は地下聖堂に入るのも、黙想も初めてでした。私にとっては催眠術みたいですが、戸惑いました。今でも私はみことばを祈れず、自分のことを祈っていることがあります。いつも

『典礼奉仕』のために (23)

「みことばの分かち合い」



高松教区典礼委員長 レナト・フィリップ

聖書を自分の直感で、自分の都合のいいところを讀んでいました。じつくり考えることが出来なくなりました。初めは「私には地獄の鼓動に耳を傾けよう。呼吸を整え、心臓の鼓動に耳を傾けよう。これからは「祈り」です。それが目標になり、レクイエム・デイヴィーナに参加するのが楽しみになりました。導入の語り手は神様との新しい出会いへと導いてくれます。いつも気づくことの喜びと、到達できなくても楽しさがそこにあります。分かち合いは他の人の感想が聞けることは素晴らしい機会です。この祈りの時間をこれからも大切にしたいと思えます。岡本利津子

みことばを生きる

「始める前に、まず私

たちがここに「いる」ということを意識しましょう。椅子に座っている身体を感じましょう。呼吸を整え、心臓の鼓動に耳を傾けましょう。これからは「祈り」です。それが目標になり、レクイエム・デイヴィーナに参加するのが楽しみになりました。導入の語り手は神様との新しい出会いへと導いてくれます。いつも気づくことの喜びと、到達できなくても楽しさがそこにあります。分かち合いは他の人の感想が聞けることは素晴らしい機会です。この祈りの時間をこれからも大切にしたいと思えます。岡本利津子

があると感じました。み言葉に耳を傾け、神様からのメッセージを受け取るために聖霊の働きが必要であることも私たちは学びました。私たちは「みことばに



土居完爾

「聖書に生きる」歩みを通して神を知る

全聖書読み終えて

この歩みを通して「神である主イエス・キリストを知っているか」と言う問いに度々出会いました。ヨハネは、自身の歴史的情況や体験の中で、神である主イエス・キリストに知られていると言っている。ヨハネの黙示にいたっては、神の言葉を直視して内面化させる心を養った宗教観に共感致しました。私の中では、「難儀な黙示」と言う観点がありましたが、その箇所を西川先生の道

破によって、私の命へと変革の体験をさせていた。まず、その事への感謝を申し上げます。次に、旧約の時代においては、神のいかりである戦争や神の助けによる恵みの体験が度々繰り返される事で、人達の成長につながっていった事であり、神によって創造されたアダムとエバは、神の知恵に囲まれた生活である事に気付かず、人間の思考に向かい本能的な姿を見る事でありました。さまざまな状態の中でのさまざまな時の体験が、神の助けによって霊を受け命を得ましたが、留まる事をせず「知らない」と拒否をしたイスカ

罪からの解放叫んだイエス

6年間、あまり参加出来なかったが、お陰様で、刈り入れ時を無事に迎えられる。皆様の御蔭と、感謝申し上げます。私にとって、1000週間は2回目のチャレンジでした。1度目は10年前でしようか。東京の真

かんとかの卒業でした。この時に心に残ったのは「恐れるな」という言葉でした。共にいて下さる神を信じて、恐れずに一歩踏み出す。その言葉に共感して、高松での姑のお世話や、北海道で自然の中にドップリ浸かって神に飲込まれる生活に踏み出すことが出来たように思えます。そして、その高松や北海道での生活は、今回の

「聖書1000週間」と並行したものでした。そんな中、今回心に深く感じられたのは、「解放」という言葉です。西川先生にユダヤの民は捕囚され国を失い、自分たちのアイデンティティーを探っていく中で、ヤウエ信仰を旧約聖書の高みまで引き上げた事。その中でモーセによるエジプトでの奴隷状態からの解放を歌い上げ、自分たちの捕囚からの解放を願ったことが、良く理解出来



「聖書1000週間」と並行したものでした。そんな中、今回心に深く感じられたのは、「解放」という言葉です。西川先生にユダヤの民は捕囚され国を失い、自分たちのアイデンティティーを探っていく中で、ヤウエ信仰を旧約聖書の高みまで引き上げた事。その中でモーセによるエジプトでの奴隷状態からの解放を歌い上げ、自分たちの捕囚からの解放を願ったことが、良く理解出来

逆にならざるから来るものだと思った時に初めて苦しみになってしまっても病や貧しさと共にいて下さる神を見出すことにより、病や貧しさと正面向かい合え、それをしつかり見つめられた時、その苦しみが解放されることを叫んだ。それが彼の言う「罪からの解放」だったと私は理解しました。そして、その「解放」を喜ぶことが出来た今、これを苦しむ人々にしつかり伝えなくては！それが福音宣教なんだと改めて深く心に留めま

転出される神父さまシスター方へ 送別と感謝 心からの感謝を申し上げます

私の歩み照らす光

早いもので、レクイエム・デイヴィーナに参加して、2年という月日が流れ、感慨深いものがあります。私にとって、日々の生活の中で祈りの時間と、空間を与えられてい

ることは本当に渴きを潤してくれる泉になっていきます。静かに黙想しながら聖書のみ言葉の一つひとつを通して、神様が私に何をしめそうとなさっているのかを求めつつ、神様からのメッセージを深めていきたいと思っております。また、皆様とみ言葉

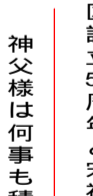
を分かち合う恵みを頂いていることも、きっと神様からの贈り物に違いありません。これからも「あなたのみ言葉は私の道の光、私の歩みを照らすともしび」(詩編119)に導かれ、信仰の道を歩み続けていきたいと思えます。香西まり子



Sr. 刀根美津子

また、高松教区設立50周年と宋神学生の助祭叙階の

「司祭室から」や「イエスの



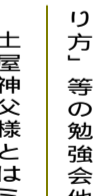
土居完爾

「聖書朗読の注意」、「典礼委員会のあり方」等の勉強会他、信徒の信仰養成



レナト神父

聖堂内外の環境整備やミサに關しては、「侍者の奉仕」



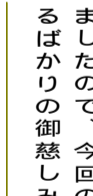
土屋和彦神父

「聖書朗読の注意」、「典礼委員会のあり方」等の勉強会他、信徒の信仰養成



ヒラン神父

「聖書朗読の注意」、「典礼委員会のあり方」等の勉強会他、信徒の信仰養成



亀井安子

「聖書朗読の注意」、「典礼委員会のあり方」等の勉強会他、信徒の信仰養成



亀井安子

「聖書朗読の注意」、「典礼委員会のあり方」等の勉強会他、信徒の信仰養成

「聖書朗読の注意」、「典礼委員会のあり方」等の勉強会他、信徒の信仰養成

医療のともしび (39)

「いのちの言葉」(星野富弘さんの言葉より)

星野富弘さんをご存じの方は多いと思います。彼は中学校の体育の先生だったのですが、24歳の時クラブ活動で鉄棒の指導中頸髄を損傷し、首から下が全く動かなくなってしまったのです。2年間の入院・リハビリ生活の後、口に筆をくわえて文や絵を書き始めるようになったのです。彼は四肢が全く動かないので自分を植物と同一視し、植物の目で空や水や風や風景やいのちあるものをこよなく愛し続けたのです。そして現在も詩画や随筆の創作に情熱を燃やしております。「愛、深き淵より」、「かぎりなくやさしい花々」、「鈴の鳴る道」、「種蒔きもせず」などなどすばらしい作品を残しております。

彼の「いのち」についての言葉をいくつか味わいましょう。

「この道は茨(いばら)の道、しかし茨にもほのかにかおる花が咲くあの花が好きだから、この道をゆこう」

「私にできることは小さなこと。でも、それを感謝してできたら、きっと大きなことだ」

「辛いという字がある。もう少しで幸せになれるような字である」

「暗く長い土の中の時代があった。いのちがけて芽生えた時もあった。しかし草はそういった昔をひとつも語らず、もっとも美しい今だけを見せている」



「よるこびが集まったよりも悲しみが集まった方がしあわせに近いような気がする。強いものが集まったよりも弱いものが集まった方が真実に近いような気がする。しあわせが集まったよりもふしあわせが集まった方が愛に近いような気がする」

「いのちが一番大切だと思っていたころ、生きるのが苦しかった。いのちより大切なものがあると知った日、生きているのが嬉しかった」

聖マルチン病院 井原彰一

教区スケジュール

- 3月 1日(土) (拡大) 宣教司牧評議会in徳島地区(〜2) 2日(日) 年間第8主日 4日(火) 司祭評議会10:30 5日(水) 灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎) 9日(日) 四旬節第1主日 16日(日) 四旬節第2主日 17日(月) 日本の信徒発見の聖母祝日 19日(水) 十聖コセフ 21日(金) 春分の日10:00召命の集い・ヨゼフ朗読奉仕者選任式・高山司祭/助祭候補認定式 22日(土) 青年カンボジアスタデツア(〜31) 23日(日) 四旬節第3主日 25日(火) 十神のお告げ 10:00静修 29日(土) 人権委員会講演会in鳴門(〜30) <狭山事件50年> 30日(日) 四旬節第4主日 4月 4日(金) 山下悟師命日 6日(日) 四旬節第5主日 13日(日) 受難の主日(枝の主日)(聖週間)【世界青年の日】 16日(水) 聖香油11:00ミサ 17日(木) 聖木曜日(主の晩さん) 18日(金) 聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)【聖地献金】 19日(土) 聖土曜日/復活徹夜祭 20日(日) 十復活の主日 21日(月) 広島教区司祭との交流会in岡山 27日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日) 28日(月) 顧問会10:30/静修14:00 29日(火) 昭和の日 聖カタリナ(シエナ)おとめ教会博士 記

告知板

朗読奉仕者選任式
ヨゼフ・
司祭助祭候補認定式
高山 徹

期 日: 14年3月21日(金)午前10時
場 所: 桜町司教座聖堂

式後
高松教区召命の集い

子どもたちとともに主日の福音を『こじか』2014年度のご案内

こどもたちに福音を味わう1週間をわかりやすいと好評の主日の福音解説を中心に、多彩な記事で子どもたちにイエスさまのまなざしを伝える「こじか」。どこへでも1部からお届けいたします。受洗、初聖体のお祝いやお孫さんへのプレゼントとしてもご好評いただいています。

- ・毎週日曜日発行(年44週) B5判・16頁(ふりがなつき)
・定価65円+税(送料別)\*15部以上55円+税
・国内年間定期購読(年44週分)
・1部4100円/2部7400円(税・送料込。2部の価格は同じ発送先の場合)

お申し込み、お問い合わせ、見本誌請求は下記にどうぞ
オリエンズ宗教研究所
〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5
電話: 03-3322-7601 / Fax: 03-3325-5322
http://www.oriens.or.jp/

平和を大切に9条を守ろう 松浦司教語る

1月12日、日本カトリック正義と平和協議会の協賛を得、松山教会社会活動委員会は松浦司教様をお迎えして学習会と懇談会を開催した。
学習会に先立ち、まずミサを行い、司教様は松浦司教の親しみを込めた「お互いに挨拶をしましょう」との導入の言葉に私達も笑顔で応え合い、聖堂の雰囲気やすぐに和やかに話したように感じられ、続くミサ後の学習会には100名以上もの参加者があり盛況であった。
司教様は学習会の前半に、「なぜ教会は社会問題に関わるのか」というテーマについて話された。イエスが貧しい人や苦しんでいる人々に寄り添って共に歩まれたように、私達もイエスの弟子として人の悲しみや苦しみが伴う社会問題に関心を持って生きることが求められていること、また社会の中でカトリック信者と



松山教会 社会活動委員会 日本カトリック正義と平和協議会 共催
『福音を通して憲法を学ぶ』
松山教会 尾崎寿一

続いてパレスチナ紛争で子供を救うために戦車にひきさられた女性の話を取り上げられ、自分自身の危険を顧みず、弱い者を救うために命を投げ出したその女性の行為の中にイエスはあらわれ、人々を愛したイエスは自らも愛を注ぎ、人々を愛した。
この話を聞いて、弱い者の立場に立ち、共感し、助ける

つづくと思った。
さらに、世界のいたる所で起きている災害に苦しむ人々、戦争による被害者や孤児達のことを、自分の家族や子供達に置き換えて考えてみるならば、その悲しみや苦しみが自分のものであるでしょうと言われた。
司教様のお話しはともすれば無関心で傍観者の態度を取り、向き合うことに目をそむけがちな私の心を鋭くくぐり、目をそむけてはならない、これからは信者としてもっと社会問題に真剣に関わらねばならないと改めて思われた。

ことは、命を懸けるほどの勇気と覚悟を持つてしなければならないことではないと

民に参拝を強要することも可能も無ではないことなどを話された。
そして、日本国憲法の果たしてきた平和的役割として、ハーグの平和アピール市民社会会議において、「各国議会は日本国憲法第9条のような、政府が戦争することを禁止する決議を採択すべきである。」

その中で司教様が強調されたのは、私達信者は物事を判断する時、福音に叶っているか、反するかを考へなければならぬということであった。
人にはそれぞれの意見や考えがある、しかし平和を大切に守る9条を守るためには皆が一致し、繋がっていくべきではないか。憲法を守ろう、平和を守ろう、福音が詰まっている憲法を手放してはならないと熱く語られた。

表現の自由も護られ、知る権利も保障されている。
しかし、自民党が考えている憲法の主権者は、国民ではなくて国家であることを指摘された。

編集後記
主の御降誕と新年を祝った感に浸っていたところ、早くも四旬節に入りました。
教会典の頂点である聖なる3日間と主の復活を相応しく迎えるための心の点検と清めのためには無くてはならない大切な季節です。
教区設立50周年を機とした教区在り方の中で、教区の欠けた部分をその整った心を以て、信徒の奉仕職への積極的参加によって、より豊かなものとする好機が訪れている。
これは名実共に信徒の時代の到来を期待しているところだ。(一)

不要になった車を譲ってください。
宣教司牧活動に使用します
お心当たりの方は是非お知らせを！
高松教区事務局
TEL: 087-831-665 FAX: 087-833-1484

神を觀想し、その実りを人々に伝えよ
聖ドミニコ宣教修道女会

医療法人社団聖心会 阪本病院
わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します
院内保育園完備
整形外科・脳神経外科・泌尿器科 皮膚科・外科・消化器外科 耳鼻科・乳癌科・形成外科 呼吸器科・呼吸器内科・内科 リウマチ科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科
〒763-2832 香川県東かがわ市川原103-1 0879-25-1121(代) http://www.sakamoto-hosp.or.jp/

TSC 高松教区サポートセンター
東日本大震災大船渡支援 献金入金報告 (含む米券)
12・1月分557,786円
(内ワンコイン22,400円)
大船渡プロジェクト活動「日本のカトリック教会東日本大震災支援復興関係一覽」にてアクセスしてご覧ください。
送金報告
2013年12月27日
大阪管区大船渡プロジェクトへ3,875,347円送金